



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 扶桑薬品工業株式会社  
 コード番号 4538 URL <http://www.fuso-pharm.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 戸田 幹雄  
 (氏名) 高橋 貞雄

TEL 06-6969-1131

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	11,641	0.2	233	60.1	363	79.5	229	85.2
27年3月期第1四半期	11,622	△4.7	146	△83.8	202	△80.0	123	△80.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	2.54	—
27年3月期第1四半期	1.37	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第1四半期	69,035		33,806		49.0
27年3月期	68,627		33,538		48.9

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 33,806百万円 27年3月期 33,538百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	△2.0	300	△12.3	200	△37.8	140	△30.3	1.55
通期	46,000	△2.2	600	△24.7	400	△41.1	300	△12.0	3.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	94,511,690 株	27年3月期	94,511,690 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	4,061,975 株	27年3月期	4,055,188 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	90,452,796 株	27年3月期1Q	90,482,448 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府・日本銀行による経済対策及び金融政策に加え、円安や原油価格の下落を背景に企業収益や雇用・所得情勢が改善し、また、設備投資に持ち直しの動きが見られるなど緩やかながらも回復基調が続いたものの、混迷するギリシャ問題に揺れるユーロ圏経済の先行き不透明感や中国経済の減速など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しする懸念も残るところとなりました。

医薬品業界におきましては、高齢者の増加や医療の高度化等に伴い増大する国民医療費に対して、薬価改定や後発医薬品使用促進策など医療費抑制政策が強化されるなか、研究開発費の増加、企業間競争の激化など取り組むべき課題が山積し、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと、当社は、医療において強く求められている輸液などの基礎的医薬品の安定供給に努めるとともに、業績の確保に向け、主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリーなど人工透析関連製商品を中心に販売促進を図るほか、新規取引先の開拓に取り組むなど営業活動に邁進してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は、血液浄化療法の選択肢の拡大に伴う透析関連品の販売減があったものの、人工腎臓用透析剤キンダリー4号シリーズの売上が伸長し、116億41百万円と前年同四半期と比べ19百万円(0.2%)の増加となりました。また、利益面では、営業利益は2億33百万円と前年同四半期と比べ87百万円(60.1%)の増加、経常利益は3億63百万円と前年同四半期と比べ1億60百万円(79.5%)の増加、四半期純利益は2億29百万円と前年同四半期と比べ1億5百万円(85.2%)の増加となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、690億35百万円と前事業年度末と比べ4億7百万円(0.6%)の増加、負債は352億28百万円と前事業年度末と比べ1億39百万円(0.4%)の増加、純資産は338億6百万円と前事業年度末と比べ2億68百万円(0.8%)の増加となりました。

なお、自己資本比率は49.0%と前事業年度末に比べ0.1%の増加となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、現時点では平成27年3月期決算発表時(平成27年5月8日)に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法については、従来、定率法（ただし、茨城工場及び平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、当第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、当事業年度における茨城工場及び城東工場における大型設備の新設を契機として、保有する有形固定資産の使用実態を調査・検討した結果、生産設備全般につき耐用年数にわたり長期安定的に稼働しており、また将来も同様の状況が見込まれることから、期間損益計算をより適正に行うためには使用期間にわたって均等に原価配分を行うことが適切であると判断し定額法を採用したものです。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期累計期間の減価償却費は69百万円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ59百万円増加しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,898	5,663
受取手形及び売掛金	21,181	21,232
商品及び製品	7,807	7,514
仕掛品	103	95
原材料及び貯蔵品	1,377	1,407
その他	1,065	1,052
貸倒引当金	△2	-
流動資産合計	37,431	36,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,587	7,575
土地	9,968	9,968
その他(純額)	6,895	7,391
有形固定資産合計	24,452	24,936
無形固定資産	388	405
投資その他の資産	6,354	6,727
固定資産合計	31,195	32,069
資産合計	68,627	69,035
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,326	8,783
電子記録債務	3,024	2,823
短期借入金	6,138	6,731
未払法人税等	-	38
賞与引当金	936	458
その他の引当金	306	303
その他	6,698	7,291
流動負債合計	26,430	26,429
固定負債		
社債	190	190
長期借入金	4,940	5,084
退職給付引当金	1,439	1,430
その他の引当金	233	237
その他	1,855	1,856
固定負債合計	8,658	8,798
負債合計	35,088	35,228

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	15,010	15,010
利益剰余金	12,313	12,181
自己株式	△1,438	△1,440
株主資本合計	36,644	36,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,166	1,569
土地再評価差額金	△4,272	△4,272
評価・換算差額等合計	△3,106	△2,702
純資産合計	33,538	33,806
負債純資産合計	68,627	69,035

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	11,622	11,641
売上原価	8,376	8,430
売上総利益	3,245	3,211
返品調整引当金戻入額	0	0
差引売上総利益	3,246	3,211
販売費及び一般管理費	3,100	2,977
営業利益	146	233
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	46	37
保険関係収益	69	80
投資事業組合運用益	5	57
その他	38	46
営業外収益合計	163	226
営業外費用		
支払利息	52	51
生命保険料	32	35
その他	22	11
営業外費用合計	107	97
経常利益	202	363
特別損失		
固定資産除却損	1	4
特別損失合計	1	4
税引前四半期純利益	200	358
法人税、住民税及び事業税	10	9
法人税等調整額	66	119
法人税等合計	76	128
四半期純利益	123	229



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。